

白浜町教育委員会 会議の結果

件 名	令和 7 年 8 月定例教育委員会
日 時	令和 7 年 8 月 2 1 日（木）午前 10 時 00 分～午前 10 時 45 分
場 所	教育委員会 会議室
出 席 者	○教育委員 西田教育長、榎本委員、山本委員、正木委員、濱田委員 ○職員 廣畑教育次長、岡田教育次長補佐、小河畑日置川教育事務所長 江川中央公民館長、三栖教育指導係長、目良総務学事係長 大石生涯学習係長

1. 開会あいさつ（教育長）

それでは定例教育委員会の前に、ご報告させていただきます。

本日の出席委員は、5 名ですので、会議は成立しております。

ただ今から 8 月定例教育委員会を開会します。

2. 会議録署名委員の指名

会議録署名委員に榎本委員が指名される。

3. 報告事項

4. 付議事項

議案第 1 4 号 令和 6 年度白浜町教育委員会事務事業等の評価について

《概要》教育委員会は毎年、事務の管理及び執行の状況について自己点検及び評価を行い、その結果を議会へ報告するとともに、公表することが義務付けられているため、令和 6 年度における事務事業等の評価をとりまとめた。

【意見・質問なし】

・審議の結果、委員全員異議なく、議案第 1 4 号 令和 6 年度白浜町教育委員会事務事業等の評価については、原案のとおり決した。

5. 請願事項

6. 諸報

諸報 令和 7 年度 全国学力学習状況調査の結果について

《概要》令和 7 年 4 月 1 7 日に、全国学力学習状況調査が小学 6 年生、中学 3 年生を対象として行われ、教科に関する調査は、小学校は国語と算数と理科、中学校は国語と数学と理科

で、平均正答率は次の通りとなった。

《小学校 国語》町 72、県 68、全国 66.8

《小学校 算数》町 63、県 58、全国 58

《小学校 理科》町 62、県 57、全国 57.1

《中学校 国語》町 51、県 52、全国 54.3

《中学校 数学》町 42、県 45、全国 48.3

《中学校 理科》町 487、県 480、全国 508

【山本委員】

各学校でこの結果をどのように受け止めて、その課題を克服するためにどういうふうな手立てを講じるのか。そういったことを教育委員会として掴めているのか、そのへんどうですか。

【三栖教育指導係長】

特に中学校においては、テストが国語、数学、理科となっていますので、そこに目が行きがちですが、教育委員会としては、問題を他の教科の先生に解いてもらったり、見てもらったりして、その中で各教科において取り組めることをするよう指示していこうと考えています。やはり課題となっているのは、図を見て自分の意見を言う、答えなさいといったところにあるので、それはどの教科にも言えることなので、普段の授業から鍛えていくよう話をしていく。また、学校訪問の際にどのような授業をしているのか見てアドバイスしていくといったことができると考えています。

【山本委員】

成績が下がっているのは、例えば学力の高い子が私立へ行ったり、田辺中学校へ行ったりといったところもある程度は考えられると思います。しかし、それはそれとして置いておいて、資料を見ると小学校4年度から中学校3年度にかけて、成績そのものが下降している。下降しているのは、中学校の指導の在り方そのものに問題があるのか、それとも子どもたちの生活に課題があるのか、そのあたりを各学校あるいは町として、その要因を掴んで、その課題を克服するよう取り組まなければいけないと思います。明らかにこの学力の状態を見ると、中学校に行くに従って、この子どもたちの学力は下がっていつている。そのところを中学校の先生にもしっかり把握してもらって、そして課題意識をしっかりと持ってもらって、日頃の授業に取り組んでもらわないと、この課題を克服することができないと思います。子どもたちの学力というのは将来を左右する非常に大事な部分であるから、教育委員会として、いかに各学校に伝えて、取り組む状況を作っていくかということも大事なことだと思います。

【濱田委員】

私が見えている範囲で言うと、英語や数学というのは苦手意識が付くと積み重ねが大きい教科なので、それを改善するのはすごく難しいと思います。今、先生方がやってくれている取り組みとしては、まず苦手意識がある子は、取り組もうとすることが少し逸れてしまいがちなので、それをもとに戻すというのを、無理強いをせずに本人の意欲が湧くようにもつ

ていってくれています。得意な子が自然と教えることができる空気を作ったり、友達と一緒になら、もっとやってみようとか、色々に取り組む機会が増えてきたことで、この学年だけではなく下の学年にも基礎が出来てきて、取り組もうとする子どもが増えてきていると感じます。これが広がればいいなと思います。先ほど山本委員がおっしゃっていたように、どういう影響があってこういう下がり方かという、多分本人がやってみようという意欲がないと、塾へ行ってもしない子はしない、家にいてもする子はするで、やっぱり面白くなってきたなと思うきっかけを作ってくれているのが、伸びてきている大きな要因かなというのが目に見えて思うところです。それが全体にどうしたらうまくいくのか、クラスや学年、学校の色があると思いますが、そういうことを共有していければいいのかなと思います。

【榎本委員】

プラス的な意見で言います。理科はものすごく頑張っていると思います。山本委員が心配しているのも分かりますが、学力だけではなく、良い人材を育てていくことは大事なことだと思います。自主的精神に満ちた心身共に健康な生徒を育ててくれればいいと思います。6月に学校訪問にいった際の雰囲気を見れば私はOKかなと思いました。

【三栖教育指導係長】

前向きに子どもたちが取り組めるように、動機づけを持たせるような取り組みを行なっていきたいと思います。

【西田教育長】

小中の繋ぎ合わせについて、特に中学校に入ってから学び方をどんな風に子どもたちが身に付けるかということがすごく影響してくると思います。そういった施策も今進めていますので、形になれば、またの機会にお話しさせていただければと思います。貴重なご意見ありがとうございます。

7. その他

令和7年9月定例教育委員会の日程について

令和7年9月25日（木）午前10時00分から白浜町教育委員会会議室で開催予定。

日置川地域の小中学校統廃合について

【西田教育長】

先日、大津波警報が出た際には色々な対応を教育委員会でしたところです。そのことについて、次の校長会で各学校のその時の状況や今後どのように対応するかをまとめていこうと思っていますので、またの機会に報告させていただきます。

日置地区の小中学校の統廃合について、安宅の保護者代表の方が、8月28日に署名を町に持ってくるようになっております。内容を見てから詳細は報告させていただきますが、先日の大津波警報時に感じたことなのですが、教育委員会としては、日置小学校と日置中学校は津波被害のリスクがかなり高いというような押さえをしています。今回は、小学校統合の署名が出されることとなりますが、日置地区の未来をどのように考えていくかということについて、オール日置で考えていく、そういう状況にきているのではないのかと思っています。

す。各校舎の老朽化を考えても、また今後の日置の未来、教育をきちんと創っていくこと考えれば、新たに校舎を建てるということも必要なのかもしれないと考えているのですが、ただ、やはり地域の方々が今後どのようにしていくかということを、皆が当事者意識を持って考えるような状況をつくっていかないといけないと思っています。教育委員会としての意見はこれから整理していきますので、何かご意見等ありましたらよろしくお願いします。